

# 一般質問



## 白井城址について

山崎 雄平 議員

**質問** 平成16年3月、旧子持村の史跡に指定され、市町村合併を経て市の指定史跡として引き継がれている。地域のみならず市の宝であり、関係する多くの事業を経て、今の形がある。地域がさらに発展していくと考えられる。史跡として指定された経緯を伺いたい。

**教育部長** 戦国時代から江戸時代初期に至る城の構造を良好に残し、興亡の歴史等学術的にも価値が高いことから、地域のかげがえのない財産として、将来の整備・活用に向けて適正な保護を続けるため、本丸を中心とした1万5683㎡を指定したものです。

**質問** 現在、整備が何もされていない感がある。白井宿や「道の駅こもち」と連携し、観光拠点にする方針はあるか。

**教育部長** 史跡範囲が広く大半が民地という状況ですが、白井宿や道の駅と一体的な活用が図れるよう、今後も研究を続けます。

**質問** 市長は施政方針で市のシンボルとして「復元していく考え」



白井城址

を掲げ「早い時期に一定の方向を出す」としていたが、あれから年月がたつた。今の考えを聞きたい。

**市長** 白井城の価値や重要性を高めるため、史実に基づいた復元整備を目指して、史跡の保存を図りながら、調査・研究を積み重ねていきたいと考えます。

**質問** 訪れる人がいるのに、案内板は色あせ、トイレは仮設のまま。このままにしないでほしい。

**教育部長** 定期的な巡回により、案内板の清掃・修繕を行います。トイレは対応を検討します。



## 安心、安全なまちづくりについて

山内 崇仁 議員

**質問** いつ、どこで、どんな災害が発生するかわからない。災害発生時の情報収集をどうするのか。また、市民への情報の周知方法は。

**総務部長** 群馬県、気象庁、警察署、消防署、自治会等広く情報を収集し、防災行政無線のほかホームページ、ツイッター、フェイスブックを活用して周知します。

**質問** 通学路の除雪について、安全対策のために今年度はどのような対策をとるのか。

**建設部長** 細かな道路の除雪までは難しいので、自助共助の取組とともに、広報紙等でも除雪作業へのご理解ご協力をお願いをします。

**質問** 11月30日で閉鎖された渋川市民ゴルフ場をその他公園として利用開始するまでの安全対策は。

**総務部長** 入り口の進入防止対策、利用上の注意点を周知する案内看板の設置や、水路や池などの安全対策を検討しています。

**質問** 暫定的利活用の多目的芝生広場や軽スポーツ広場の具体的な

利活用と安全対策は。

**総務部長** 公園条例等を基本とし、利用者の意見を踏まえ利活用の検討を進めます。現地に管理人を置き、安全対策を講じます。

**質問** 学校・家庭・地域の三者連携推進事業の今後の見通しは。

**教育部長** 子どもたちの主体性や判断力を一層育むという視点で、各中学校ブロックで定着している取り組みや、市の共通テーマである「子どもの安全安心」に関する取り組みを充実していきたいと考えます。



子どもたちの安全確保のため通学路の早急な除雪を

# 一般質問



## (仮称)北橘運動場整備工事について

丸山 正三 議員

**質問** 不適切な土砂で盛土して問題ないと決定し指示したのは誰か。

**建設部長** 技術的な検討を踏まえ、市として方針を決定したものです。

**質問** 土砂不法搬出の調査結果は。

**建設部長** 受注業者から書面で土砂売却の事実はないと回答を得ています。追跡調査は受注者と公判中のため行っていません。

**質問** 工事写真と出来形管理表が合致していたが、検測数値等に誤りはなかったか。

**総務部長** 竣工検査の段階では誤記等は確認されませんでした。

**質問** 今でも検査基準を満たしていると考えているか。

**建設部長** 現状では、検査基準を満たしているとは考えていません。

**質問** 下請、孫請業者が工事を行い、元請業者が表彰対象になる事について。

**総務部長** 元請業者を検証することと、工事に携わった下請業者もあわせて評価していると考えます。

**質問** 受注者は工事用地について、十分な管理ができていたか。

十分な管理ができていたか。



六価クロムを含んだソイルセメント

**建設部長** 基本的には、受注者が責任を持って、より良い工事を施工し、発注者に引き渡すという責務があると認識しております。

**農産物被害の損害賠償について**

**質問** 現在の状況は。

**副市長** 係争中です。12月9日に進行協議が行われる予定です。

**質問** 三者協議はあったのか。業者にはどのような指導をしたのか。

**市長** 適切に対応するよう指示しましたが、訴訟の経過を見たい。

**副市長** 三者協議を提案しましたが、協議には至りませんでした。



## 渋川市を取り巻く教育環境と英語強化

田邊 寛治 議員

**質問** 当市を取り巻く教育環境は。

**市長** 子どもは地域の宝であり、本市の将来を担う無限の可能性を秘めた子どもたちを育てる教育環境は重要であると考えています。

**質問** 学校再編統合の諸問題は。

**教育部長** 学校統合は地域の文化、伝統、コミュニティに影響があるので、地域と培った伝統が受人校に引き継がれるよう調整します。

**質問** 武道教科の現状と課題は。

**教育部長** 中学校での武道の必修化を受け、武道場整備を推進しています。本市では、柔道の選択が8校、剣道の選択が1校です。

**質問** 少子化、貧困による現状は。

**教育部長** 奨学金制度の充実を図るとともに、貧困を原因とする教育格差をつくらないように、日々の授業の充実に努めていきます。

**質問** 多忙教職員の負担軽減対策。

**教育部長** 校務のICT化やきめ細かな指導充実非常勤講師を配置し、多忙の解消を図り、子どもと向き合う時間を確保しています。

**質問** 英語教育充実事業の内容は。

英語教育充実事業の内容は。

英語教育充実事業の内容は。



外国語活動（授業風景）

**教育部長** 外国人指導助手を配置し、小中学校での英語や外国語活動の充実を図っています。さらに、幼稚園にも派遣しています。

**質問** 小学校英語教育と母語考は。

**教育長** 母語による学習が確立して初めて、外国語によるコミュニケーション活動等が意味あるものになると考えます。

**質問** 渋川市ができる英語強化考。

**教育長** 主体的・協働的に課題を解決する力をもつ人間の育成を目指し、外国語によるコミュニケーション活動の充実を図ります。